

(様式3) 社会資本総合整備計画 中間評価書(案)

計画の名称	静岡県における流域下水道による汚水処理の推進(防災・安全)																					
計画の期間	平成23年度～平成27年度(5年間)	交付対象	静岡県																			
計画の目標	県内処理区域内の生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与している流域下水道施設の耐震化を図る。 日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため施設及び設備の改築更新を図る。																					
計画の成果目標(定量的指標)	・総合計画(静岡県策定)に基づき耐震補強を実施する処理場施設の耐震化率を20.0%(H22末)から46.7%(H27末)に増加 ・4流域下水道の処理場に係る施設及び設備の改築更新率を0%(H22末)から100%(H27末)に増加																					
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H22当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H27末)</th> </tr> <tr> <td>耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合</td> <td>20.0%</td> <td>20.0%</td> <td>46.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>処理場に係る施設及び設備の改築更新された割合</td> <td>-%</td> <td>-%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </table>					定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)	耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合	20.0%	20.0%	46.7%		処理場に係る施設及び設備の改築更新された割合	-%	-%	100.0%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																		
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)																			
耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合	20.0%	20.0%	46.7%																			
処理場に係る施設及び設備の改築更新された割合	-%	-%	100.0%																			
全体事業費	合計 (A+B+C)	12,269 百万円	A	12,269 百万円	B		C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%													

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ			
第2期(H20～24)		第3期(H25～29)	
分野名	安全・安心	分野名	安全・安心
目標名	地震災害対策の推進	目標名	地震災害に強い基盤整備
指標名	-	指標名	-
	目標値(H24)	-	目標値(H29)

中間評価

1. 交付対象事業の進捗事業(○:計画期間中に完成または完成見込み △:計画期間終了後に完成見込み(備考欄に完成予定時期を記入) -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等))

交付対象事業																		
A1 下水道事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H23	H24	H25	H26	H27			
西遠流域下水道西遠処理区											地域自主							
1-A1-2	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚水	改築	管渠改築	浜中継ポンプ場設備更新工事 1式ほか(改築更新、地震対策)	浜松市						1,300	○	
1-A1-4	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	水処理	改築	水処理施設改築	水処理1系設備更新工事、水処理1系耐震補強工事1式ほか(改築更新、地震対策)	浜松市						2,409	○	
1-A1-6	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚泥処理	改築	汚泥処理施設改築	機械濃縮設備更新工事、汚泥濃縮棟耐震補強工事1式ほか(改築更新、地震対策)	浜松市						2,310	○	
狩野川流域下水道東部処理区																		
1-A1-8	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚水	改築	管渠改築	排水機場建築及び設備更新工事1式ほか(改築更新)	田方郡函南町ほか						77	○	
1-A1-10	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	水処理	改築	水処理施設改築	水処理計装設備更新工事、水処理棟耐震補強工事1式ほか(改築更新、地震対策)	田方郡函南町ほか						1,050	○	
1-A1-11	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚泥処理	改築	汚泥処理施設改築	重力濃縮設備更新工事、汚泥処理計装設備更新工事1式ほか(改築更新)	田方郡函南町ほか						1,200	○	
狩野川流域下水道西部処理区																		
1-A1-15	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	水処理	改築	水処理施設改築	水処理設備更新工事、沈砂池ポンプ棟耐震補強工事1式ほか(改築更新、地震対策)	沼津市ほか						1,290	○	
1-A1-16	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚泥処理	改築	汚泥処理施設改築	汚泥脱水機設備更新工事、汚泥処理棟耐震補強工事1式ほか(改築更新、地震対策)	沼津市ほか						1,370	○	
1-A1-29	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚水	改築	管渠改築	夏梅木ポンプ場耐震補強工事1式ほか(地震対策)	沼津市ほか						50	○	
1-A1-30	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚水	改築	長寿命化検討	夏梅木ポンプ場長寿命化計画策定(長寿命化検討)	沼津市ほか						23	○	
天竜川左岸流域下水道磐南処理区											地域自主							
1-A1-19	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	水処理	改築	水処理施設改築	水処理設備更新工事、水処理棟耐震補強工事1式ほか(改築更新、地震対策)	磐田市						840	○	
1-A1-21	下水道	一般	静岡県	直接	静岡県	汚泥処理	改築	汚泥処理施設改築	機械濃縮設備更新工事、汚泥濃縮棟建築設備更新工事1式ほか(改築更新)	磐田市						350	○	
											地域自主							
											合計					12,269		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27				
											合計							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	進捗状況	備考
										H23	H24	H25	H26	H27			
										合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果
----	----------------------

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

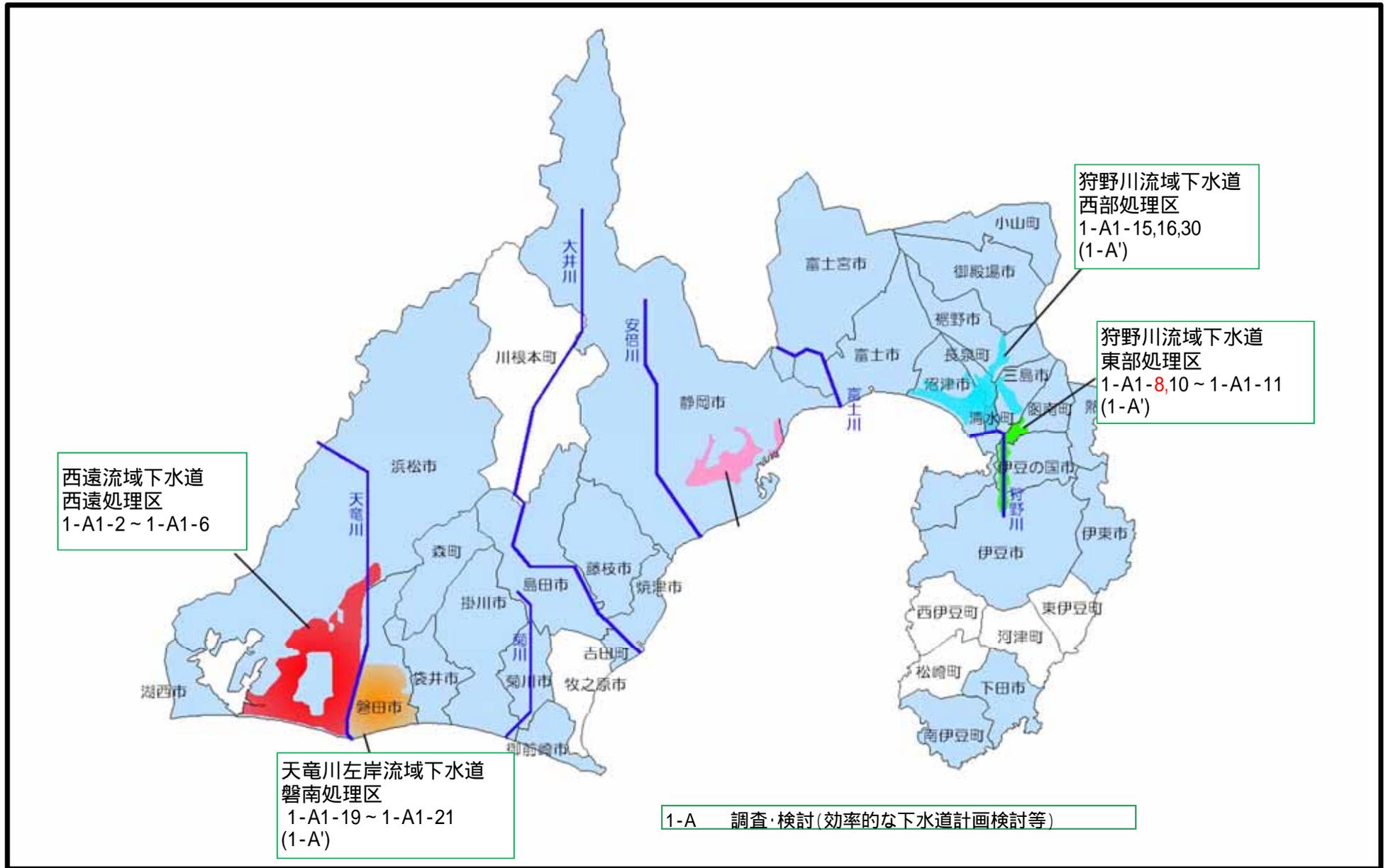
I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況		下水処理施設の耐震補強工事の実施により、下水道処理場内に従事する職員及び関係者の生命と処理施設の安定した運転を維持することが確保された。									
II 定量的指標の達成状況	指標① (耐震補強が必要な処理場施設のうち耐震補強された施設の割合)	中間目標値	20.0%	目標値と実績値に差が出た要因							
		中間実績値	20.0%								
	指標② ()	中間目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		中間実績値									
	指標③ ()	中間目標値		目標値と実績値に差が出た要因							
		中間実績値									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		-									

3. 特記事項 (今後の方針等)

引き続き計画的に工事を実施し最終目標値である指標①46.7%を達成できるよう進める。

社会資本総合整備計画 中間評価書（案）（参考図面）

計画の名称	静岡県における流域下水道による汚水処理の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年（5年間）	交付対象	静岡県



効果の発現状況

- ・整備計画名…静岡県における流域下水道による汚水処理の推進(防災・安全)
- 地震時の職員及び関係者の生命の確保並びに施設の安定した運転を確保するため建物の耐震補強工事を実施している。



西遠浄化センター 自家発電棟 耐震補強工事 竣功

耐震補強工実施前は、破線部に窓があり、壁の耐久性は弱く大地震が起きた際は、建物の倒壊の恐れがあった。
建物の倒壊による職員及び関係者の生命の確保並びに施設の安定した運転を確保するため、壁に設置された窓を撤去後、この部分に鉄筋コンクリートで補強し、壁の面積を増加により壁の耐久性が向上され耐震化が図られる。